

令和5年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
22	川崎市立南河原小学校	宝谷 拓之

学校教育目標	今年度の重点目標
明るく…心身ともに健康で心やさしい子 強く…よく考え進んで実践する子 正しく…勤労と責任を重んじよく協力する子	(1)豊かな人間関係づくり (2)確かな学力の向上 (3)体力の向上と健康・安全教育の充実 (4)地域に根ざした特色ある学校づくり

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1	・人権尊重教育の充実とキャリア在り方生き方教育の推進	・他者を意識した言動や行動ができるようになり、いじめを許さない雰囲気づくりもなされてきた。 ・コロナ禍の影響で人間関係の希薄さが懸念されていたが、制限のない教育活動が再開し、人間関係の充実が図られた。	・児童理解を含めた心の教育について、学年全体で連携を図っていく。 ・共生・共有プログラムを活用して人間関係づくりに努め、効果測定の結果を参考に改善していく。
2	・異学年交流の充実	・6年生が中心となって運営し、定期的に活動することができた。優しさや思いやりの心が生まれ、望ましい人間関係の育成が実現できた。	・異学年交流を継続させていくために必要な条件を精査し、今後の活動に生かしていく。
3	・基礎基本の習得と「思考力」「判断力」「表現力」を育成するための授業づくり	・他者参照しながら、自力で課題を解決していくプロセスが身についてきた。複数の目で児童を見取ることができ、児童理解が深まった。 ・教科のねらいにまだ十分迫ることができていないので、深い学びの部分に関する研究が必要である。	・教科のねらいを達成できる、深い学びに迫る手立てを研究していく。
4	・GIGAスクール構想の推進	・端末とクラウドを活用した学習スタイルは定着してきた。教科のねらいに迫ることができる学習過程にしていく必要がある。	・本校での研究を深めるとともに、先進校の取り組みを積極的に取り入れて実践する。
5	・児童理解と支援教育の充実	・コーディネーターを中心とした支援体制の充実を図り、児童理解を深め、子どもたちのよりよい人間関係づくりに努める。	・児童理解を深めるための連絡会や研修の充実と教員相互の連携を図る。
6	・児童の健康体力の増進	・運動の時間の確保や用具等の整備をする。健康・安全教育を充実し、児童に運動や健康への関心を高める。	・授業等でも健康の維持や運動の必要性を啓発していく。
7	・地域連帯	・地域の方を招いて人や自然とふれ合う授業を行い、子どもたちの地域への関心を高める。また、学校に関する情報をお便りや懇談会、ホームページ、メールなどで発信する。	・外部人材を積極的に活用することで、多くの人の協力により学習活動が展開できている事を実感させる。
8	・コミュニティースクールの周知	・学校便りやホームページにコミュニティースクールに関する情報を掲載し、保護者等へ周知を図る。	・学校運営協議会のメンバーを中心に、保護者・地域住民にも積極的に学校教育活動に参画してもらう。

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<p>コロナ禍の収束により、制限のない学習活動を復活させることができた。本校の特色である異学年交流が増えたことで、南河原小の良い伝統を6年生から下級生に引き継いでいきたい。GIGA端末とクラウドを活用した令和の新しい学習スタイルを児童が実感し、保護者にも実際に見てもらい機会を設けることができた。学校発出文書のデジタル化を図り、学校HPやメール配信など、積極的に情報発信して保護者や地域住民に学校の様子を伝えた。児童支援体制については、保護者と情報を共有しながら連携を図っていきたい。</p>	<p>基本的にオンラインに回答を実施し、必要に応じて紙面で回答してもらった。今年度の保護者回答率は90%近くにまで達した。アンケート項目については、昨年に引き続いて精査した。精選したことで、学校として成果が出てきたこと課題になっていることが捉えやすくなった。一部質問の意図伝わらない項目もあったので、質問の仕方を工夫していきたい。次年度に向けて何をすべきかが明確になってきた。学校からの情報発信が高く評価されてきたので、今後も積極的かつ工夫しながら発信していきたい。家庭においても、学校での様子を話題にしながら会話するように促していきたい。</p>